



长江行

长江行

邵宇

人民美術出版社 1985 北 京

長江引

作 者：邵 宇
編 者：卜 維 勤
出 版 者：人 民 美 術 出 版 社
(北 京 北 總 布 胡 同 32 號)

裝 幀 設 計：詹 蕙 娟
印 刷 者：旭 日 (深 圳) 印 刷 有 限 公 司
發 行 者：新 華 書 店 北 京 發 行 所

1985年第一版第一次印刷 書號：8027.9565 定價：18.00元

psst
po



作 者 像

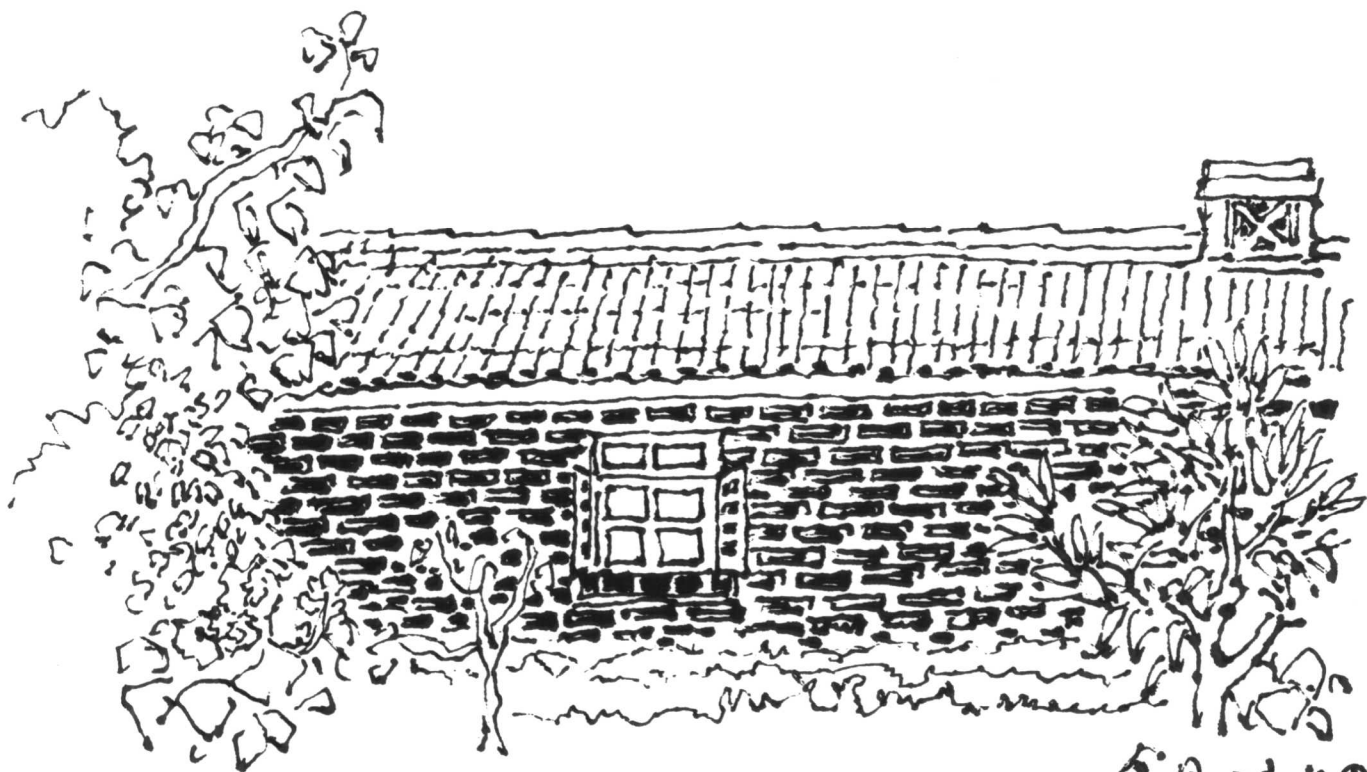
目 錄

我們來到重慶.....	1
重慶城郊.....	2
座談會上.....	3
一張畫像.....	4
五湖四海之歌.....	5
重慶山城.....	6
重慶一日.....	7
重慶之夜.....	8
夜登高山.....	10
木屋.....	11
重慶嘉陵江.....	12
途中.....	14
重慶山村.....	17
碼頭.....	18
江中小島.....	19
江邊.....	20
看守行李的同志.....	22
望江機械廠碼頭.....	24
“望江一號”輪.....	25
沿江小鎮.....	26
逆流而上.....	27
江中石灘.....	28
長江一勁松.....	29
長江中之孤島.....	30
向長期堅持在這江上小島工作的同志們致敬！.....	31

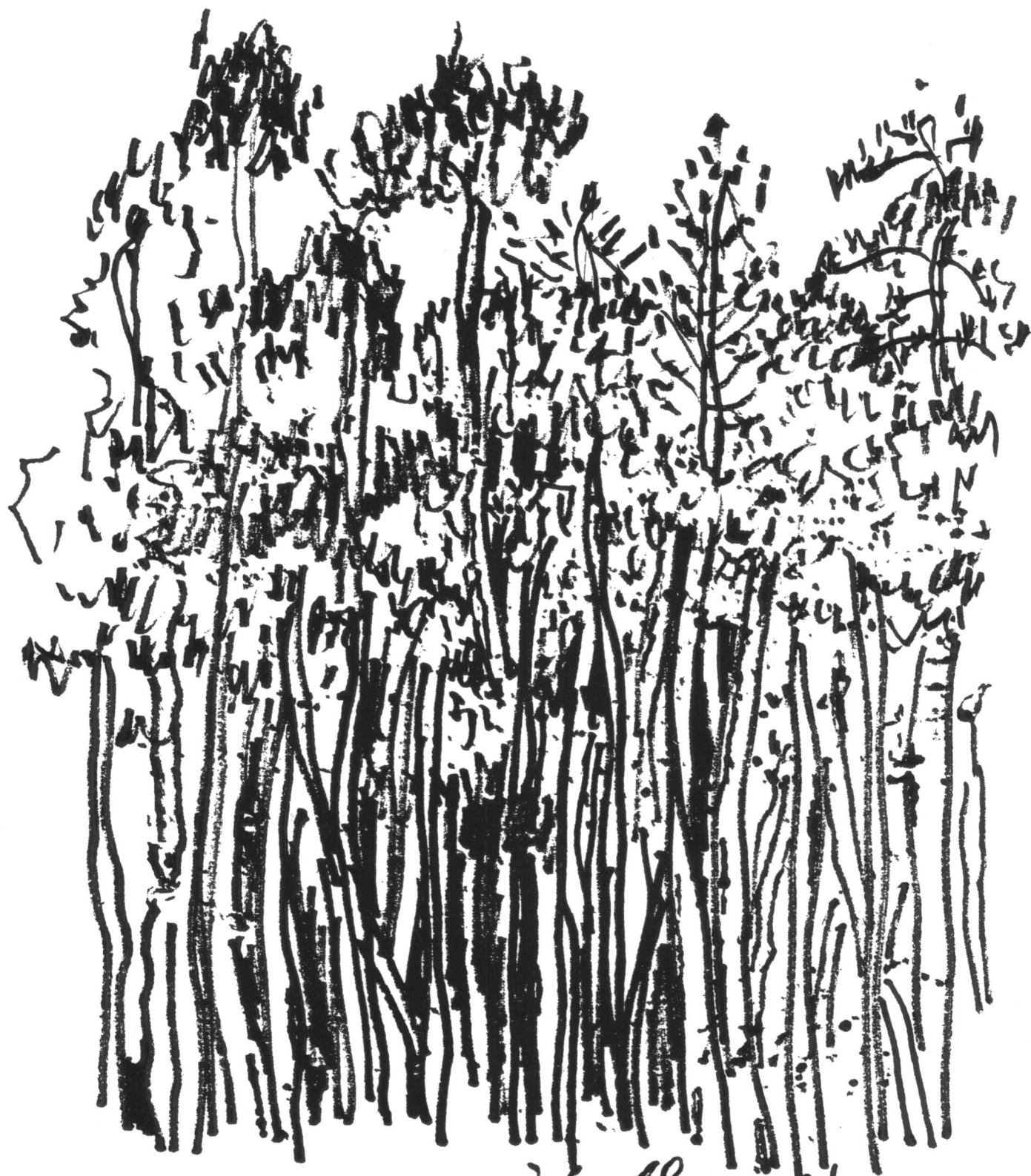
到達了豐都.....	32
“鬼城”傳說的今釋.....	33
來了客人.....	34
歡迎遠方的來客.....	35
豐都旅館一角.....	36
名山之報恩殿.....	37
“鬼門關”.....	38
豐都之一.....	39
豐都之二.....	40
名山之天子殿.....	41
“二仙樓”.....	42
航標讚.....	43
石島與航標.....	44
萬縣.....	45
萬縣之山城.....	46
在萬縣市委.....	47
石寶寨之一.....	48
石寶寨之二.....	49
長江流中石如舟.....	50
長江之濱.....	51
桃子山下的信號台.....	52
白帝城與桃子山.....	54
白帝廟.....	55
劉備托孤彩塑.....	56
高山上的城.....	57
過長江之一.....	58
過長江之二.....	59
巴陽峽.....	60

長江江岸之張飛廟.....	61
險灘激流.....	62
江灘激流.....	63
逆流行.....	64
時間與生命之歌.....	65
長江“小三峽”.....	66
“小三峽”中之“滴翠峽”.....	67
觀音坐蓮台峯.....	68
花石灘.....	69
峽中行之一.....	70
峽中行之二.....	71
小舟在“小三峽”中.....	72
長江水.....	74
江流多變美如花.....	75
巫山縣.....	76
在奉節的碼頭.....	77
等車.....	78
長江行途中.....	79
“唐僧西天取經之山”.....	80
“唐僧西天取經之山”下.....	81
江邊之皇陵.....	82
屈原廟.....	83
江心小島.....	84
巴東.....	85
望江輪上.....	86
葛洲壩之一.....	87
葛洲壩之二.....	88
雄偉奇特的江邊山峯.....	90
長江之濱巫縣.....	91

帆.....	92
沙市.....	93
宜昌之一.....	94
宜昌之二.....	96
旗.....	97
橋.....	98
綠化、淨化、美化.....	100
沙市.....	101
春秋閣.....	102
離開了沙市.....	104
在陽光下平靜的江面.....	105
遠望岳陽樓.....	106
岳陽樓前.....	107
從湖北到湖南.....	108
岳陽所見.....	109
湖南洞庭湖.....	110
洞庭湖之渡口.....	111
君山.....	112
君山之金龜.....	113
洞庭湖上.....	114
途中記事.....	115
路經咸寧記事.....	117
東湖.....	118
長江大橋.....	120
黃鶴樓.....	121
歸元禪寺.....	122
古琴台.....	123
愛我中華，寫我河山的“長江行”結束了.....	124
後記.....	編者

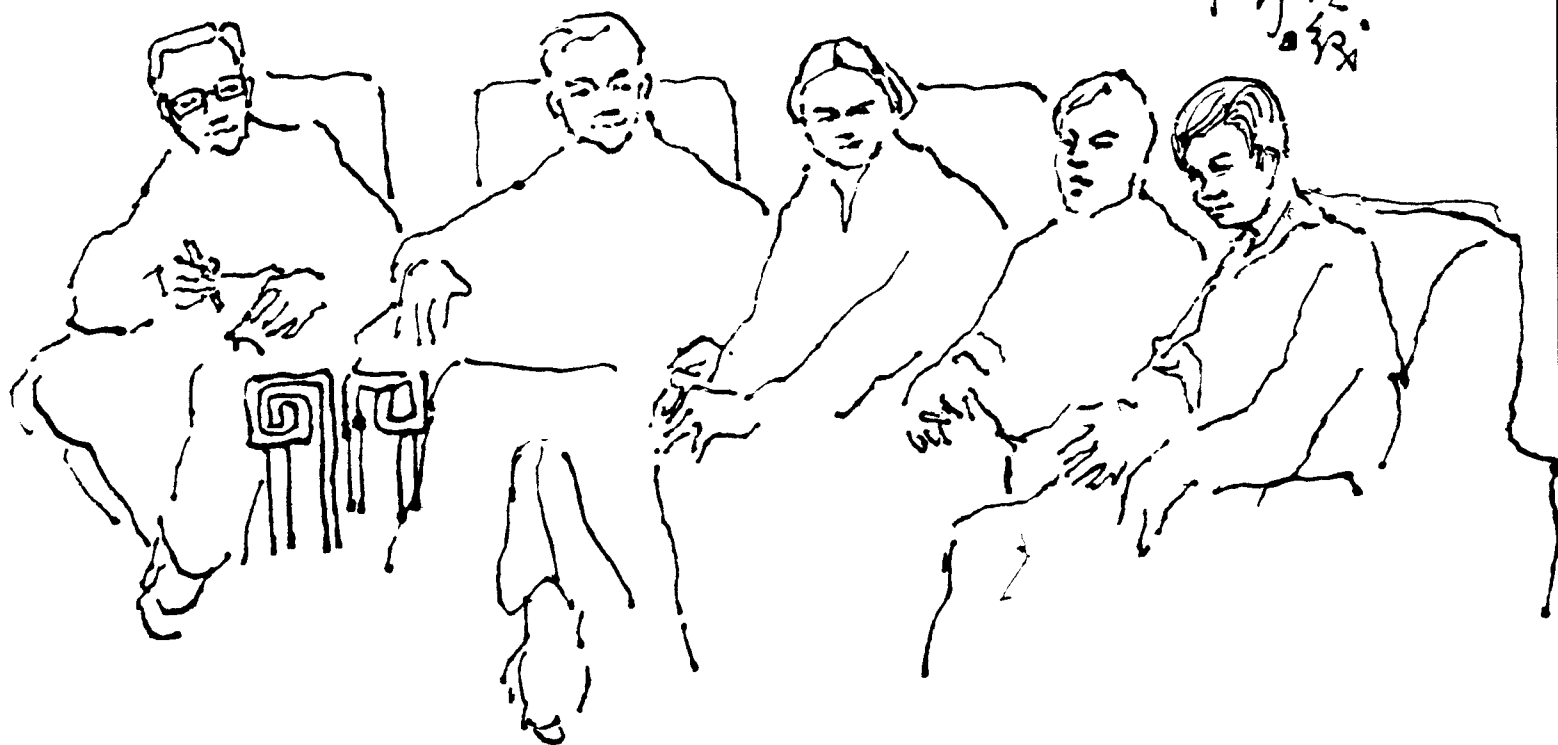


今日、一九八の年十月
廿の日、赤竹寺に参
詣、住持因山/僧
小庵・即持/僧也名
江上の禪り宇。



杉林の風景
- 2 -

何事中心、勉め
 はたき上りて行
 長え八の十
 川舟の白蛇を
 を生かすに
 三殿閣了
 正今は一匹
 合文支助
 殿和自
 学中心の
 急まぬと
 在る暇所
 生さず
 全点分り
 録る情
 以ふの年
 お日服
 記帳
 重本
 宇



五湖の海と歌

四ノ友集
重なる年
河の山あり
談情日
意の

元弘のくも十月廿の日
舟上江原久末の
花開きたる話か
成る



壬辰一日

朝辭赤都玄短求衣午
夕過玉花城又空家對
啼中野鳴又是春江
殿中星是家分家つま
燈火空中懸山城祖
祖教禮云。

元弘元年
四月廿五日
高野山
日蓮江戶
聖于



但馬
の
十
月
空

